

開講科目名 / Course	看護管理学概論 政策等含む	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美、荒木 章裕、姫野 雄太、矢野 亜紀子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	看護管理学概論 は、看護管理学概論 で学んだ知識を踏まえて看護管理のプロセスおよびマネジメントの実際について学習する。 マネジメントや医療・看護の質を高めるための理論や方法などを学ぶ。さらに、より良い看護を提供するための看護の政策についても理解を深める。	
到達目標	1. 看護管理のプロセスについて説明できる。 2. チームや組織における人や物、コストのマネジメントについて説明できる。 3. 医療や看護の質を高める理論や方法について説明できる。 4. 事例を通して看護管理の実際や考え方を説明できる。 5. 看護の政策について説明できる。	
DPとの対応	2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	01. チームや組織で行う看護（看護管理のプロセス） 02. チームや組織における人のマネジメント（採用・育成・モチベーションなど） 03. チームや組織における人のマネジメント（リーダーシップなど） 04. 物やコストのマネジメント（診療報酬、費用対効果、効率性など） 05. 医療や看護の質 06. 看護の政策と活動 07. 在宅実習など事例を通してマネジメントを考える 08. グループワーク・発表・ディスカッション 09. 総合実習など事例を通してマネジメントを考える 10. グループワーク・発表・ディスカッション	
その他の授業の工夫	学生が主体的に学ぶため、グループワークや発表、意見交換等のアクティブラーニングを実施する。看護学実習を通して得た経験をもとに身近な看護の現場について考え、看護管理について学習を深める。	
時間外学修	事前学修：事前課題やレポートにより講義に関する予習を行う（7h）。 事後学修：事前課題やレポートにより講義に関する復習を行う（15h）。 看護学実習を臨床や臨地で行う際に看護管理に関する知識を活用する。また、看護学実習の経験を振り返り看護管理に対する理解を深める。	
評価方法と評価割合	提出物（30%）とレポート（70%）を判断して評価します。 出席を前提としているため欠席の場合は減点の対象とします。	
テキスト	授業ごとにハンドアウトを配布する。	
参考書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1]（医学書院） 看護の統合と実践 看護管理（メディカ出版）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	福田広美：病院に勤務する看護師 荒木章裕：病院に勤務する看護師 姫野雄太：病院に勤務する看護師 矢野亜紀子：病院に勤務する看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の実務経験を活かして看護管理の理論や知識、看護政策について教育する。	